

2024年10月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社AB & Company

(証券コード：9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることがより良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

HAIR SALON
Agu.

直営美容室運営
事業



直営店舗の
運営

フランチャイズ
事業



FC店舗の
運営サポート

インテリアデザイン
事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

2024年10月期3Q 連結サマリ（前年同期比）

- ・売上収益は前年同期比+9.2%と堅調に推移
- ・営業利益は前年同期比▲0.1%ではあるものの、回復基調（四半期ベースの前年同期比はで1Q四半期：▲15.6%、2Q四半期：▲5.4%）
- ・インボイス制度導入の影響額は1Q四半期：▲33百万円、2Q四半期：▲35百万円、3Q四半期：▲37百万円

	3Q四半期	前年同期比	3Q累計	前年同期比
売上収益	4,766百万円	+9.2%	13,511百万円	+7.7%
営業利益	567百万円	▲0.1%	1,369百万円	▲6.1%
調整後EBITDA	720百万円	+0.8%	1,828百万円	▲4.1%

*調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

*インボイス制度導入に対して当社は経過措置を活用しております。同措置により業務委託スタイリストはこれまで同様、免税事業者のままでも制度施行前と同水準の報酬を得られる一方で、美容室運営法人側では仕入税額の控除が一部不可となるため、コスト（売上原価）が増加いたします

2024年10期 第3四半期 通期計画対比進捗率

売上収益は概ね計画通りの進捗だが、各段階利益は若干ビハインドして進捗

(単位：百万円)

2024年10月期
通期計画

売上収益	13,511百万円	74%	18,243百万円
営業利益	1,369百万円	68%	2,000百万円
税引前当期利益	1,255百万円	68%	1,840百万円
当期利益	865百万円	71%	1,210百万円

国内店舗数 推移

直営・FC合わせて27店舗の店舗純増。計画に対し、15店舗程度ビハインドの状況

店舗数

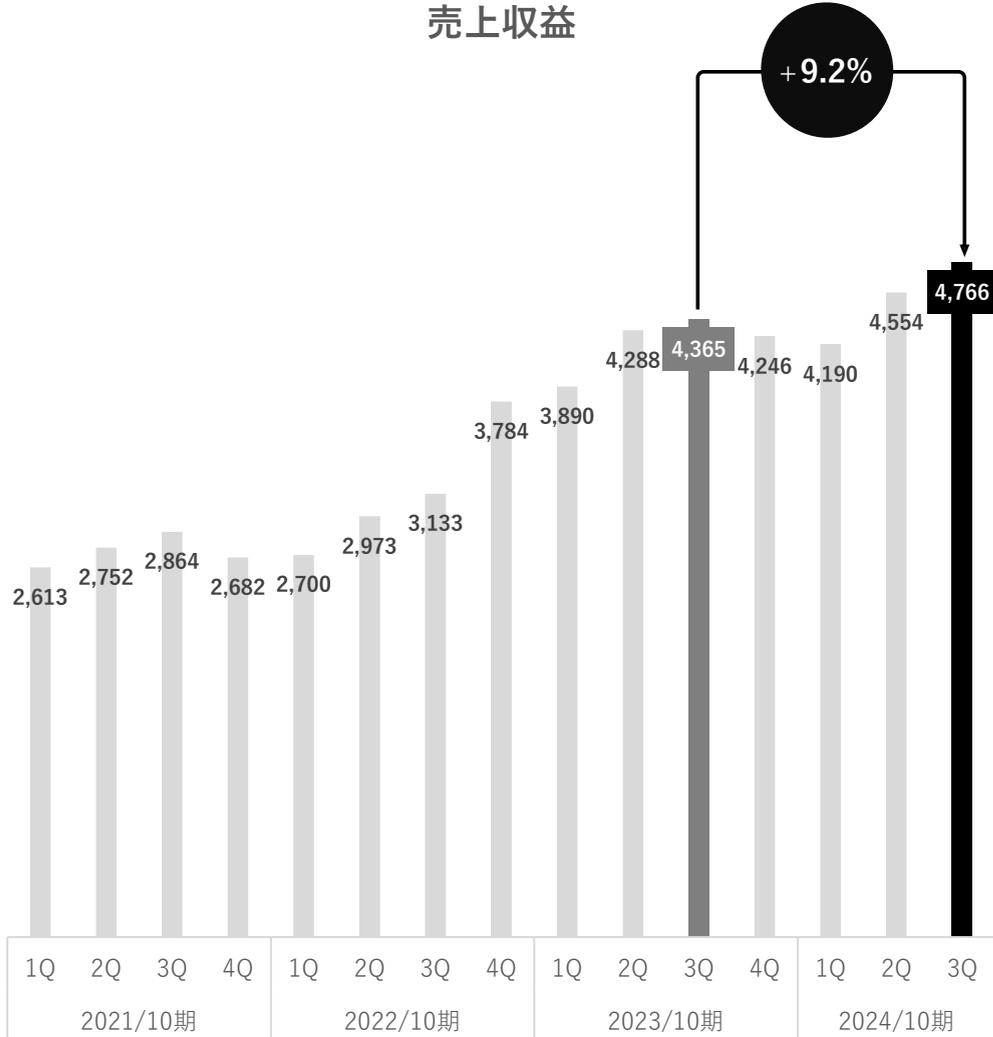


店舗純増数



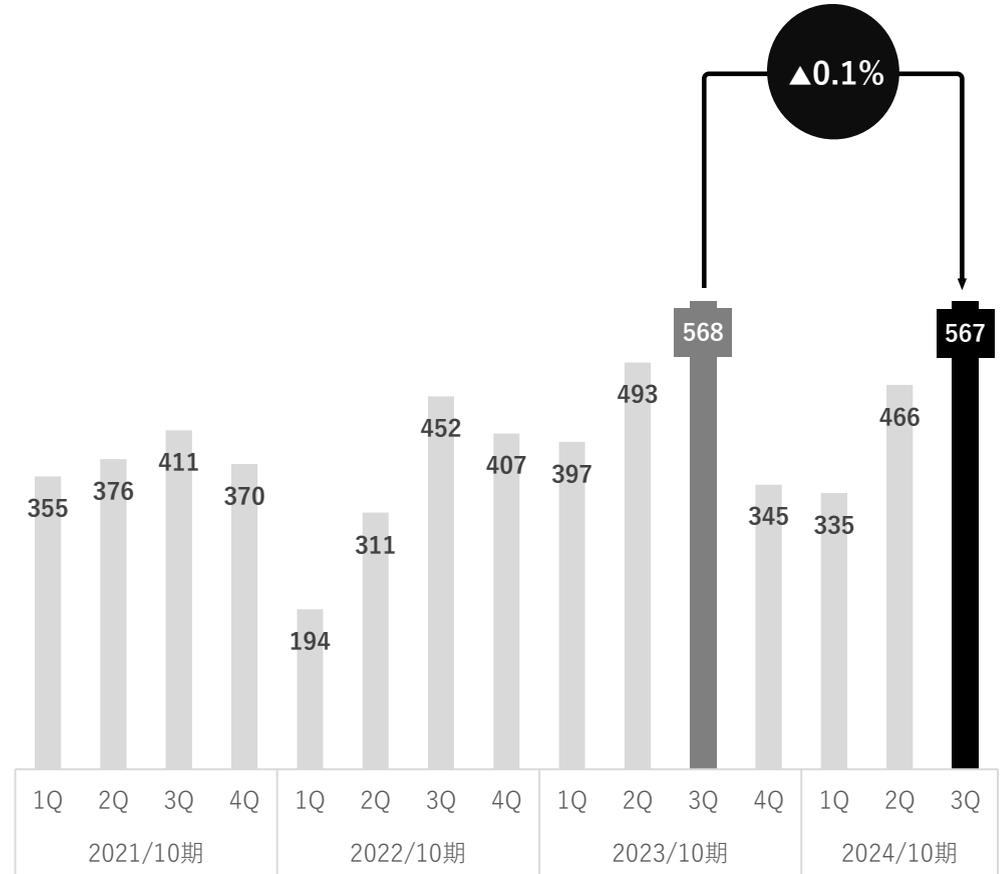
四半期実績推移

売上収益



営業利益

(単位：百万円)



店舗売上KPI 実績推移 (3Q四半期ベース)

- ・顧客単価の前年比伸長が顕著 (直営:+3.8%、FC:+5.0%)
- ・メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇

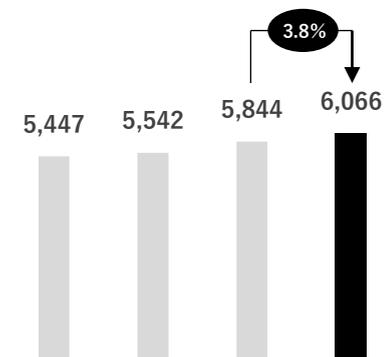
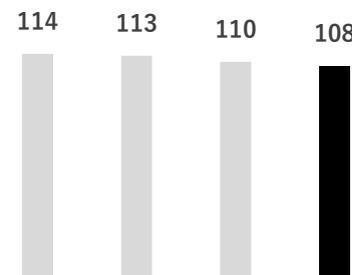
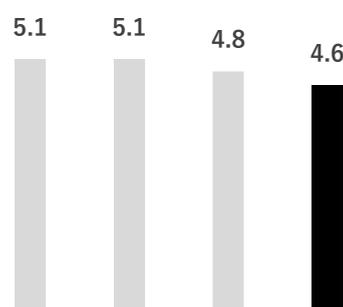
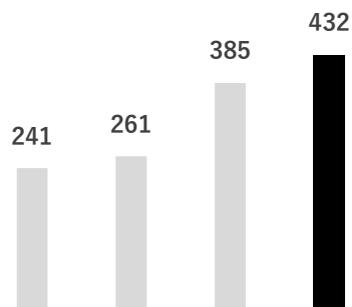
国内店舗数

国内店舗あたり
スタイリスト数

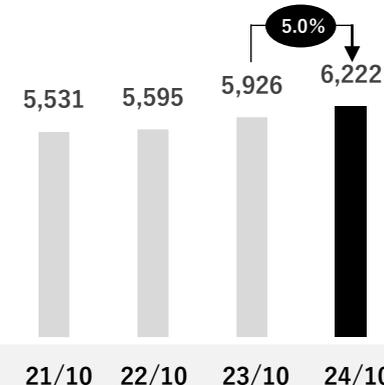
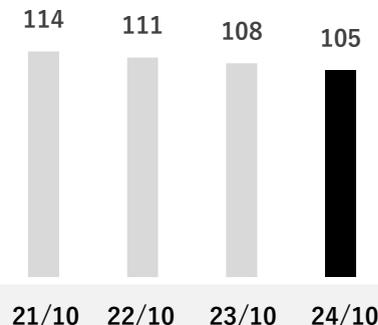
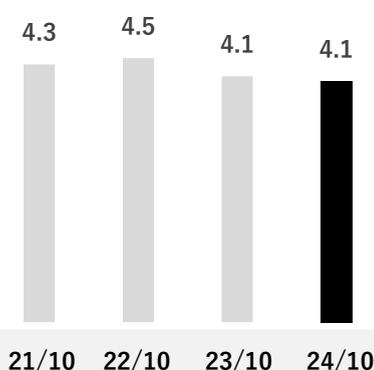
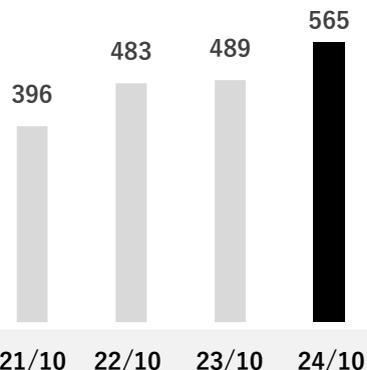
スタイリストあたり
顧客数

顧客単価

直営



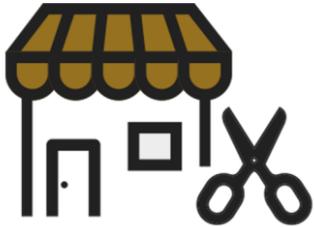
FC



事業セグメント

美容室運営 HAIR SALON Agu. 等

直営美容室運営 事業



直営店舗の運営

フランチャイズ 事業



FC店舗の
運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

セグメント概況（前年同期比） 直営美容室運営事業

- ・インボイス制度導入（経過措置適用）により売上総利益率が低下
- ・成長投資を優先した新規出店推進により販管費の増加（直近12か月の直営店舗純増数47は同期間ベースで過去最高）

（単位：百万円）

	1Q			2Q			3Q			3Q累計		
	2023/10期	2024/10期	増減									
売上収益	3,298	3,498	6.1%	3,504	3,733	6.5%	3,610	3,882	7.5%	10,413	11,113	6.7%
売上原価	1,903	2,067	8.6%	2,037	2,217	8.8%	2,106	2,296	9.0%	6,047	6,580	8.5%
売上総利益	1,395	1,431	2.6%	1,467	1,516	3.3%	1,503	1,585	5.5%	4,366	4,532	4.3%
売上総利益率	42.3%	40.9%	▲1.4	41.9%	40.6%	▲1.3	41.6%	40.8%	▲0.8	41.9%	40.8%	▲1.0
販管費	1,325	1,460	10.2%	1,312	1,473	12.3%	1,361	1,526	12.1%	3,998	4,460	11.6%
その他収益	2	5	142.0%	6	15	146.4%	72	53	▲25.8%	80	74	▲7.7%
その他費用	2	2	14.4%	21	10	▲52.1%	31	19	▲37.8%	55	32	▲40.9%
セグメント利益	70	▲27	-	139	47	▲66.3%	182	92	▲49.1%	392	112	▲71.2%
セグメント利益率	2.1%	▲0.8%	▲2.9	4.0%	1.3%	▲2.7	5.1%	2.4%	▲2.7	3.8%	1.0%	▲2.8
【参考】経営指導料 調整後利益	184	93	▲49.9%	261	175	▲29.9%	306	226	▲26.1%	752	495	▲34.1%

セグメント概況（前年同期比） フランチャイズ事業

- ・FC店舗の新規出店を主因として、前年対比20%超の増収
- ・セグメント利益率40%超を維持

（単位：百万円）

	1Q			2Q			3Q			3Q累計		
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減
売上収益	529	627	18.4%	568	680	19.6%	581	708	21.8%	1,680	2,016	20.0%
外部売上	302	367	21.7%	328	404	23.3%	338	423	24.9%	969	1,195	23.3%
売上原価	34	47	38.4%	38	46	20.3%	36	47	31.0%	109	141	29.5%
売上総利益	495	579	17.0%	530	633	19.6%	545	661	21.2%	1,571	1,875	19.3%
売上総利益率	93.5%	92.4%	▲ 1.1	93.2%	93.1%	▲ 0.0	93.8%	93.3%	▲ 0.5	93.5%	93.0%	▲ 0.5
販管費	284	336	18.2%	337	366	8.5%	283	374	32.3%	905	1,077	19.0%
その他収益	7	9	15.3%	2	8	253.2%	2	18	642.6%	12	36	181.4%
その他費用	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
セグメント利益	218	252	15.2%	195	276	41.7%	264	305	15.2%	679	833	22.8%
セグメント利益率	41.3%	40.2%	▲ 1.1	34.3%	40.6%	6.3	45.5%	43.1%	▲ 2.5	40.4%	41.3%	0.9
【参考】経営指導料 調整後利益	310	359	10.3%	293	393	32.0%	365	426	21.2%	968	1,180	21.8%

セグメント概況（前年同期比） インテリアデザイン事業

- ・3Q四半期においてFC店舗純増数が前期比減少（前期36、当期21）により、FC向け売上は▲27%となった一方で外部向け売上は好調（前年対比107.6%増）

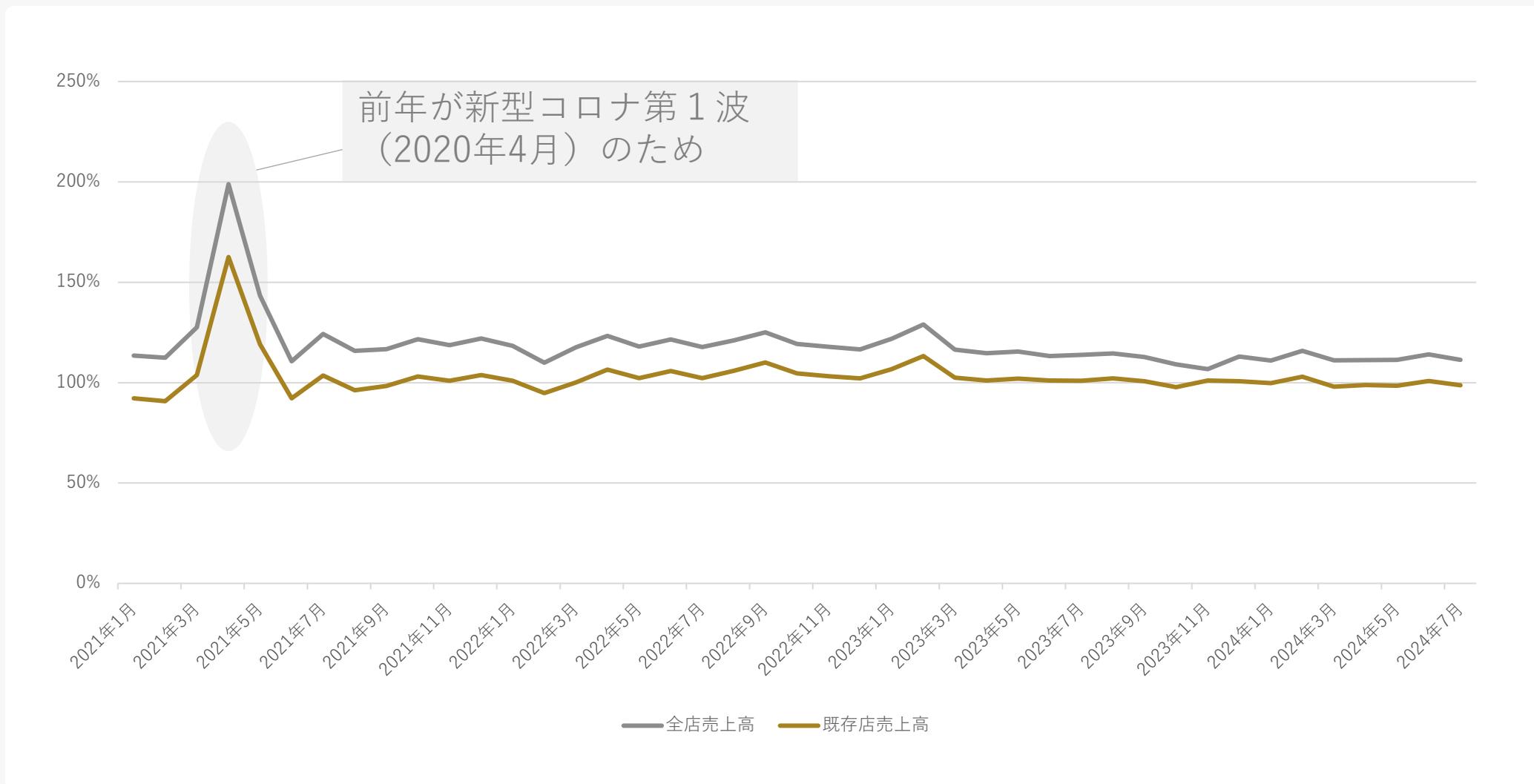
（単位：百万円）

	1Q			2Q			3Q			3Q累計		
	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減	2023/10期	2024/10期	増減
売上収益	427	523	22.6%	581	546	▲6.0%	645	701	8.8%	1,653	1,772	7.2%
直営向け売上	137	199	44.9%	125	129	3.5%	228	258	13.0%	491	587	19.5%
FC向け売上	122	159	30.1%	181	181	0.5%	312	228	▲27.0%	616	569	▲7.6%
外部向け売上	166	164	▲1.3%	274	234	▲14.5%	103	214	107.6%	545	614	12.7%
売上原価	321	401	24.8%	433	430	▲0.7%	498	544	9.3%	1,253	1,376	9.8%
売上総利益	105	122	15.9%	148	116	▲21.5%	146	156	7.1%	400	395	▲1.2%
売上総利益率	24.7%	23.4%	▲1.4	25.5%	21.3%	▲4.2	22.7%	22.4%	▲0.4	24.2%	22.3%	▲1.9
販管費	80	98	22.0%	93	106	13.4%	86	107	24.0%	261	312	19.6%
その他収益	0	0	57.7%	0	0	89.8%	0	0	▲52.3%	1	1	3.6%
その他費用	0	0	-	1	0	-	0	0	-	1	0	-
セグメント利益	25	24	▲3.2%	52	10	▲80.3%	61	49	▲18.4%	139	84	▲39.2%
セグメント利益率	5.9%	4.6%	▲1.2	9.1%	1.9%	▲7.2	9.5%	7.1%	▲2.4	8.4%	4.8%	▲3.6

全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

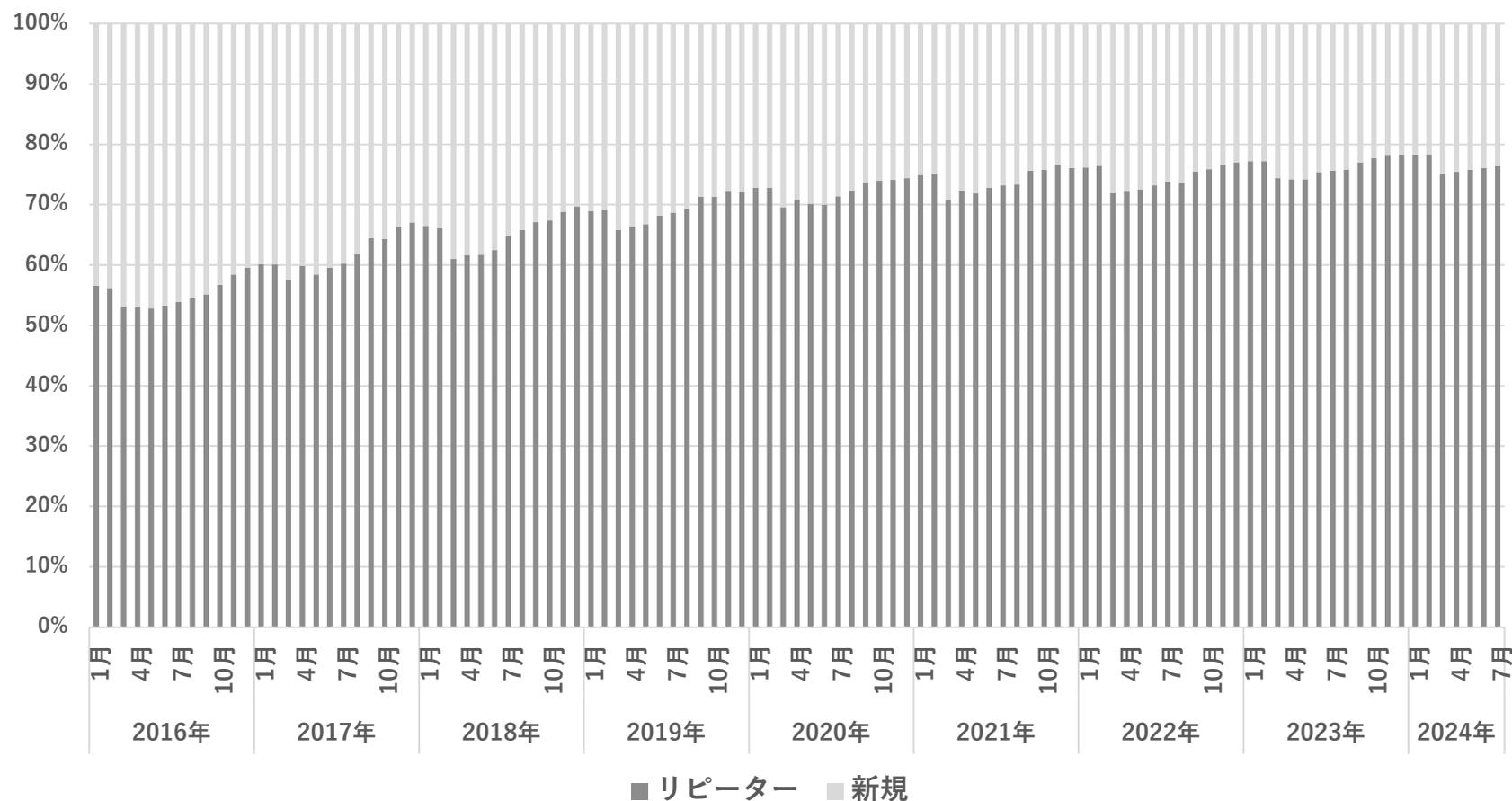
全店売上高：直近は110%強で推移

既存店売上高：100%前後で推移



リピーター比率の推移

継続的にリピーターは積み上がっている状況



※リピーターの定義は「6か月以内に再来店した顧客」

BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2023/10 期末	2024/10 3Q	増減
現金及び現金同等物	2,325	2,355	29
営業債権及びその他の債権	938	1,155	216
棚卸資産	131	183	51
その他の流動資産	795	475	▲ 320
流動資産合計	4,191	4,169	▲ 22
有形固定資産	1,497	1,621	124
使用権資産	4,678	4,946	268
のれん	8,488	8,488	0
無形資産	4,390	4,422	31
その他の金融資産	588	628	40
繰延税金資産	578	578	0
その他の非流動資産	56	55	▲ 1
非流動資産合計	20,278	20,741	463
資産合計	24,469	24,910	440

	2023/10 期末	2024/10 3Q	増減
営業債務及びその他の債務	1,074	1,100	26
契約負債	53	74	20
借入金	1,657	2,155	498
リース負債	1,434	1,535	101
未払法人所得税等	406	36	▲ 369
その他の流動負債	515	500	▲ 15
流動負債合計	5,142	5,403	260
借入金	5,372	5,785	413
リース負債	3,179	3,327	147
引当金	785	835	50
繰延税金負債	1,297	1,297	0
非流動負債合計	10,635	11,246	610
負債合計	15,778	16,649	871

資本金	194	194	0
資本剰余金	5,002	5,001	0
利益剰余金	3,598	4,041	443
自己株式	▲ 111	▲ 995	▲ 884
その他の資本の構成要素	7	18	10
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,691	8,261	▲ 430
資本合計	8,691	8,261	▲ 430
負債及び資本合計	24,469	24,910	440

2023/10/2開示「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に基づき自己株式取得を実行済

※IFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を物件の使用権利とみなし、「使用権資産」（資産側）「リース負債」（負債側）としてBSに計上されている

想定されるご質問への回答

通期計画に対しての進捗

Q:

3Q累計で、通期計画に対しての進捗率が売上で74%、営業利益で68%という状況だが、今後の見通しをどのように考えているか？出店進捗についても現状の認識を知りたい。

A:

計画に対してビハインドしている状況ではあるものの、利益面でも対前年比のマイナス幅が縮小しつつあり（四半期ベースの前年同期比はで1Q：▲15.6%、2Q：▲5.4%、3Q：▲0.1%）、経営環境に対して大きな懸念は持っていない。また、通期計画値の達成はややハードルが高い状況となってしまったが、一方で大きく乖離して着地することは想定していない。出店についても通期計画値の達成はややハードルが高い状況だが、本質的に経営環境が変化しているわけではなく今後も新規出店を積み重ねていくことができると考えている。

株主還元についての方針

Q:

株主還元方針について変更する予定はあるか。

A:

配当、株主優待ともに変更予定はない。

（株主優待：従来通り100株以上500株未満→8,000円相当、500株以上→24,000円相当のオンラインストア優待券。

優待券は2025年1月開催予定の定時株主総会終了後に発送する「定時株主総会決議ご通知」に同封予定）

キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2023年10月期 3Q	2024年10月期 3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	1,366	1,255
減価償却費及び償却費	1,491	1,641
営業債権及びその他の債権の増減	▲ 144	▲ 216
法人所得税の支払額	▲ 523	▲ 764
その他	▲ 75	415
	2,113	2,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 365	▲ 603
無形資産の取得による支出	▲ 15	▲ 56
差入保証金の差入による支出	▲ 51	▲ 56
その他	7	37
	▲ 425	▲ 678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	202	155
長期借入金の調達による収入	0	1,769
長期借入金の返済による支出	▲ 486	▲ 1,011
リース負債の返済による支出	▲ 1,070	▲ 1,219
支払配当金	▲ 421	▲ 422
株式の発行による収入	29	6
自己株式の取得による支出	0	▲ 884
その他	0	▲ 19
	▲ 1,747	▲ 1,626

IFRS適用による留意点

- IFRS基準では実質的な家賃（使用权資産の償却）が減価償却費に含まれております

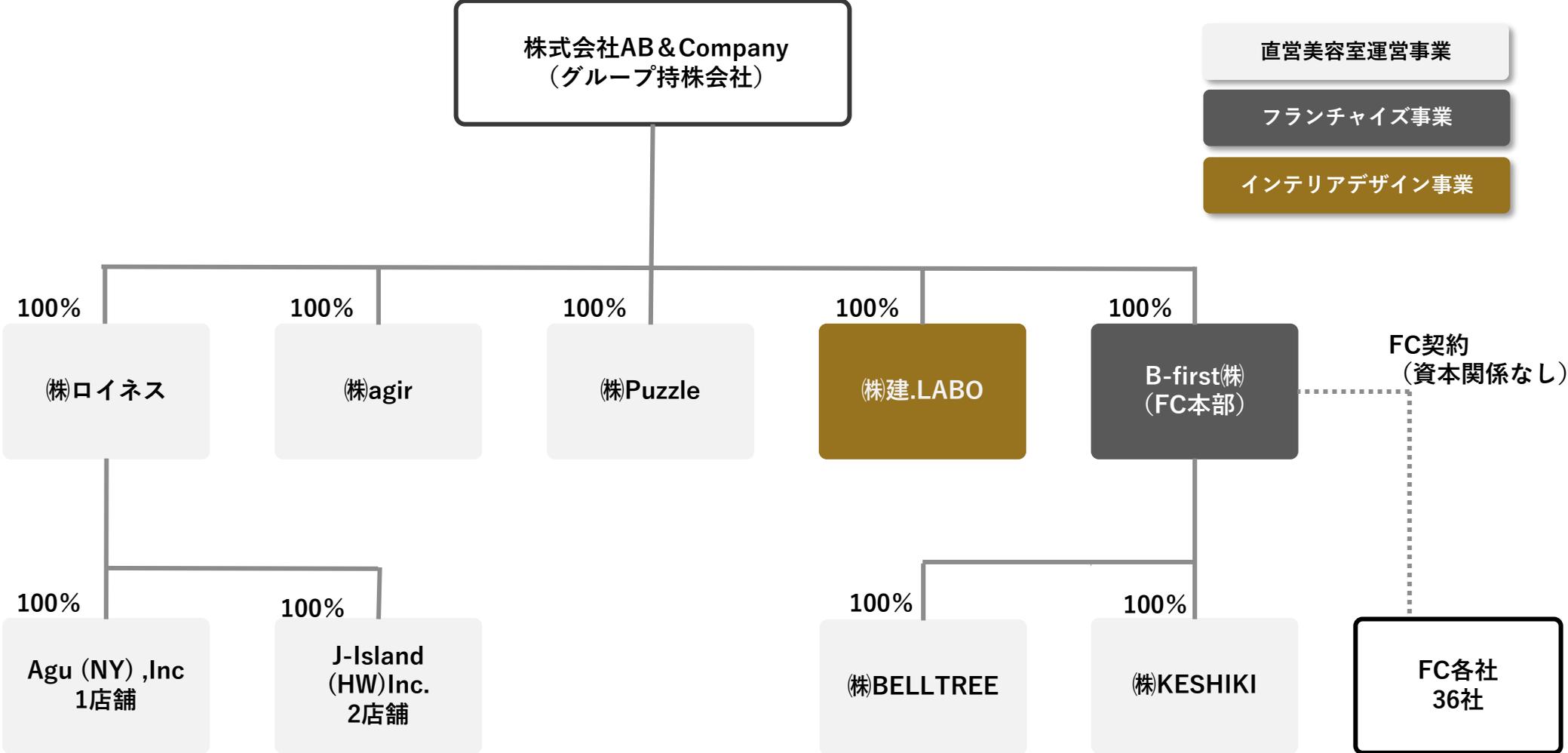
(2024年10月期3Qの実質家賃：1,140百万円)

- 実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済」として計上されております

- LBO用借入金の返済額が増加

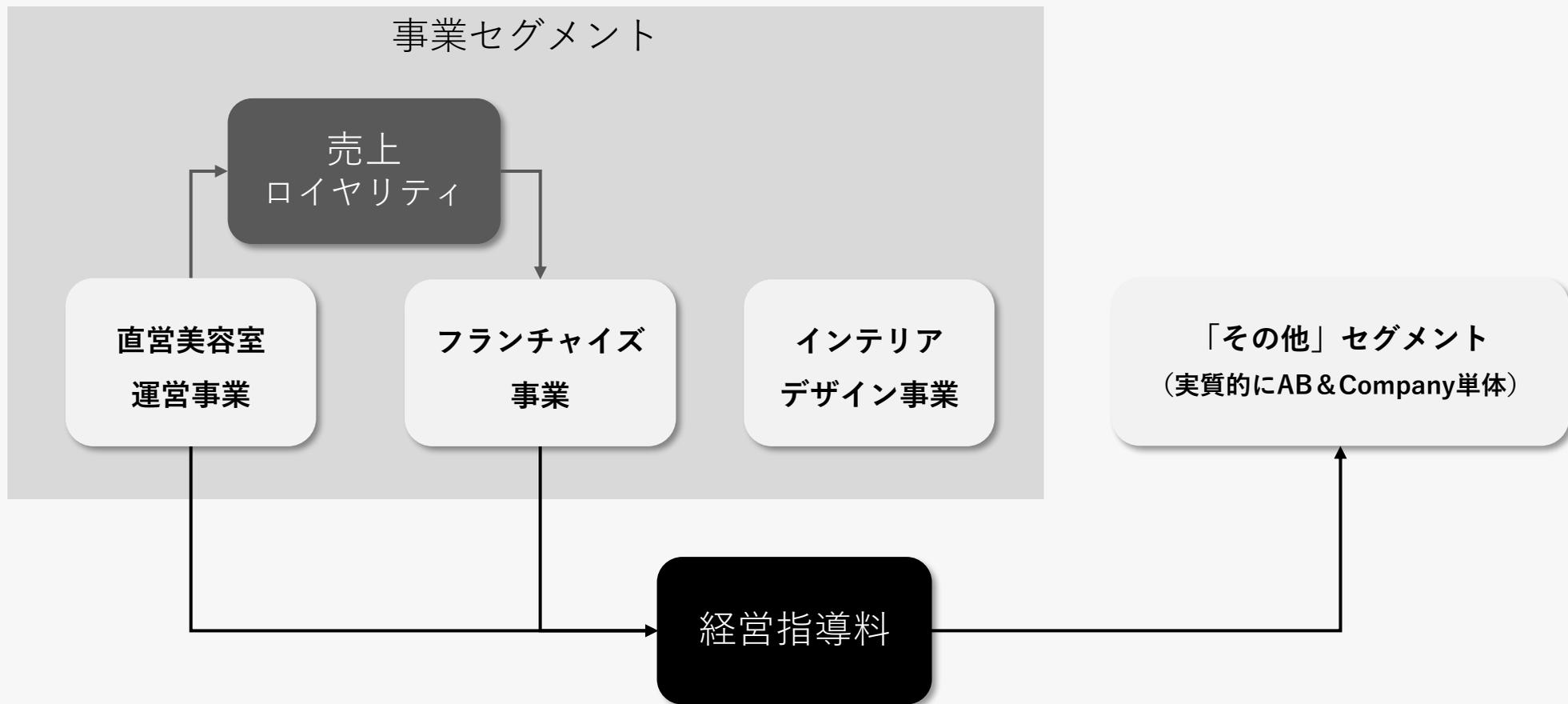
APPENDIX

AB & Companyグループ構成図



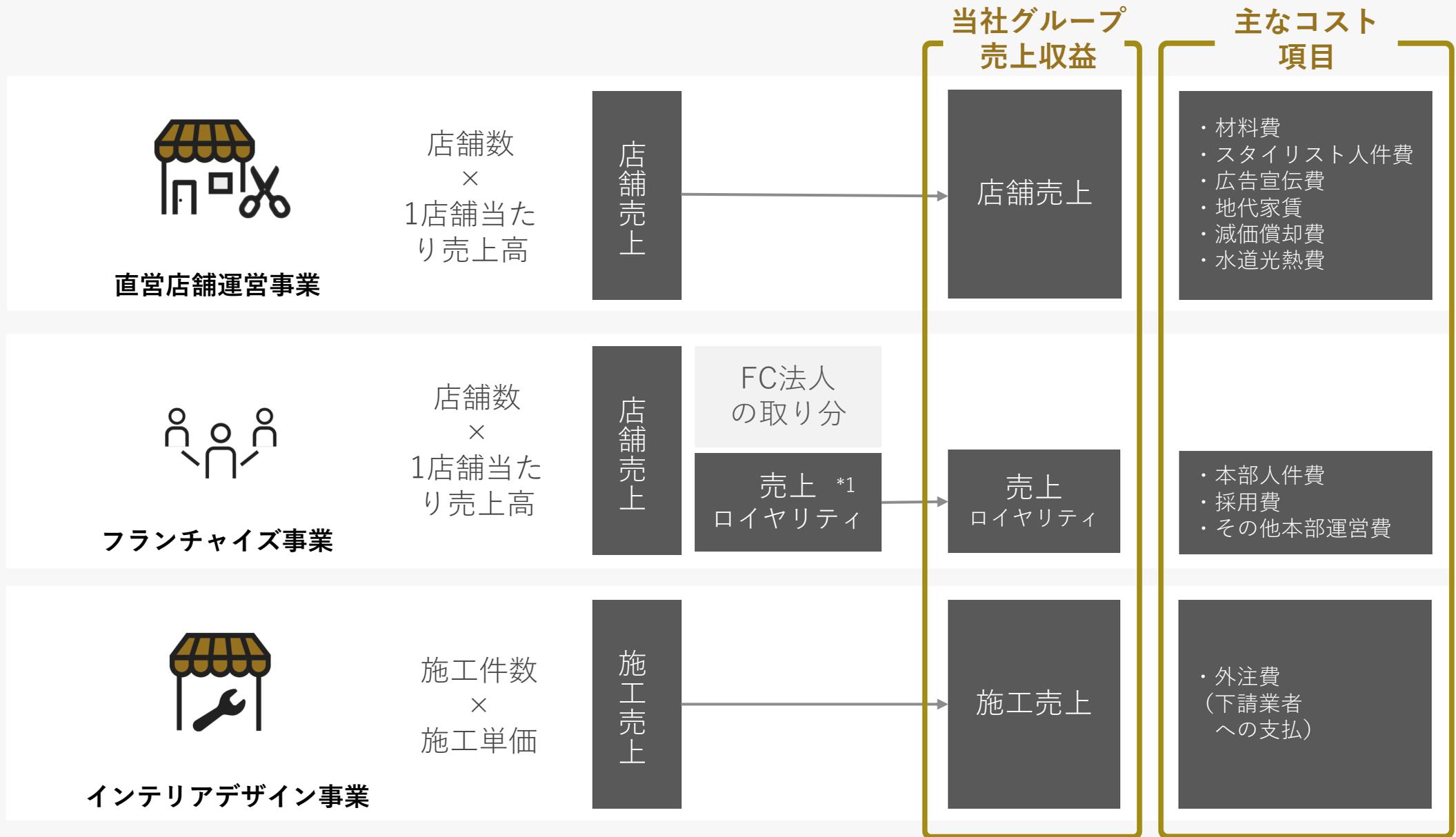
【参考】セグメント構造

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料^{*1}を支払っている



*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない

セグメント毎の収益モデル



*1 フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」（仕入代
行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動）で構成される